

赤い羽根共同募金・住みよい地域作り支援事業

奈良ダルク研修センター



連続講座

第1回 日時 平成20年12月18日(木)

受付開始 11:30 開始 12:00~終了 17:00

参加費 無料 (資料代として2000円)

奈良ダルク研修センター 所長 近藤恒夫

「薬物依存者への回復支援」

奈良ダルク研修センター 講師 ポール・オーバーヘイム

「日本におけるTC(治療共同体)システムの導入と効果」

場所 奈良ダルク研修センター 奈良県大和高田市東中2-10-18(奈良ダルク内)

(ダルクに駐車場はございません。近鉄南大阪線「高田市駅」横に有料駐車場がございます。)

主催 奈良ダルク研修センター 連続講座実行委員会

協力 奈良県共同募金会 ならNPOセンター 奈良県立大学・奈良教育大学インターン学生 カリタスジャパン(椅子購入時助成)

後援 日本ダルク本部 関西アルコール関連問題学会 奈良県 奈良県教育委員会 大和高田市

奈良保護観察所 奈良ダルクを支える弁護士の会 奈良県保護司会連合会 奈良県更生保護協会

奈良県薬剤師会 奈良県精神科診療所協会 奈良県社会福祉士会 奈良県看護協会 奈良県社会福祉協議会

奈良県民生児童委員連合会 日本精神科看護技術協会奈良県支部

問い合わせ 奈良ダルク 07-45-22-0207 群馬ダルク 027-363-3308

奈良ダルク 研修センター 所長 近藤恒夫

プロフィール

日本ダルク本部 代表

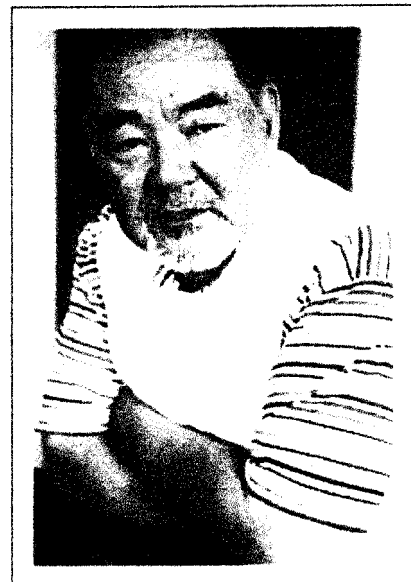
APARI(アジア太平洋アディクション研究所) 理事長

医療法人 社団 APARIクリニック 常務理事

自ら薬物依存に陥り、1980年、札幌地方裁判所において、懲役1年2ヶ月、執行猶予4年の判決を受ける。

1985年、薬物依存者の社会復帰を目指す『ダルクデイケアセンター』を設立。2008年現在、50カ所の関連施設が全国各地で運営されており、「薬物依存症者の回復の権利」を求めて歩み続けた20年が評価されている。

- ・1995年 『東京弁護士会人権賞』受賞
- ・2001年 『吉川英治文化賞』受賞
- ・2006年 『矯正局東京管区長賞』受賞
- ・厚生科学研究班『薬物依存・中毒者のアフターケアに関する研究』分担研究員
- ・現在、法務省『薬物事犯受刑者処遇研究会』に民間有識者の立場で参加



奈良ダルク研修センター 講師 ホール・オーバーヘイム

プロフィール

NPO法人 群馬ダルク 理事長

米国グアムレインボーハウス回復センター 創設者

ディバック・チャポアによる最善の生き方を極める哲学

レベル1/レベル2を取得

C. D. A. CII 取得

(薬物・アルコール問題カウンセラーの資格 レベル2)

ヘーゼルデン：リベットプログラムトレーニング

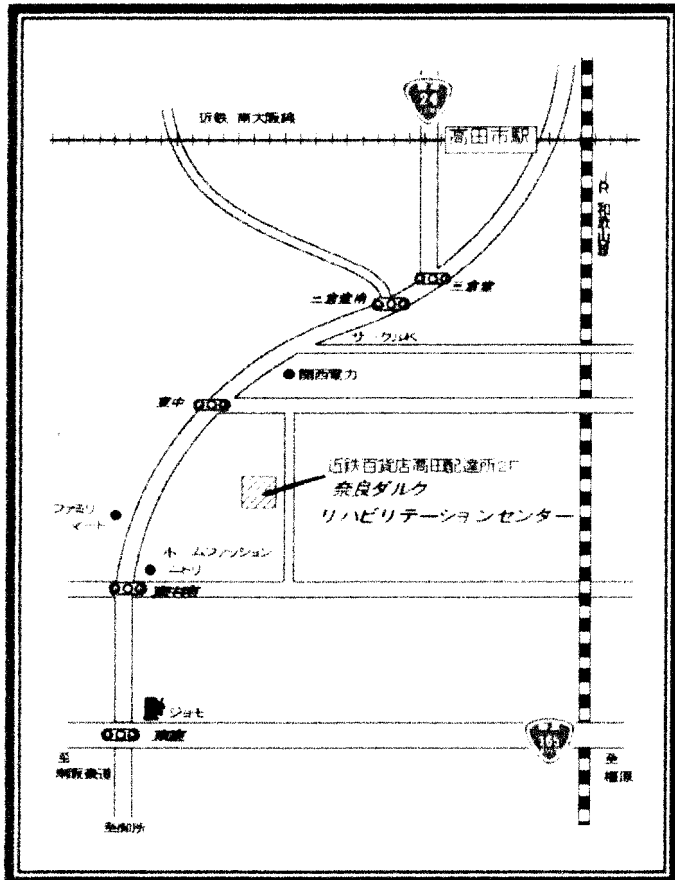
ベティーフォードクリニック

感情の平安：回復への次のステップワークショップ

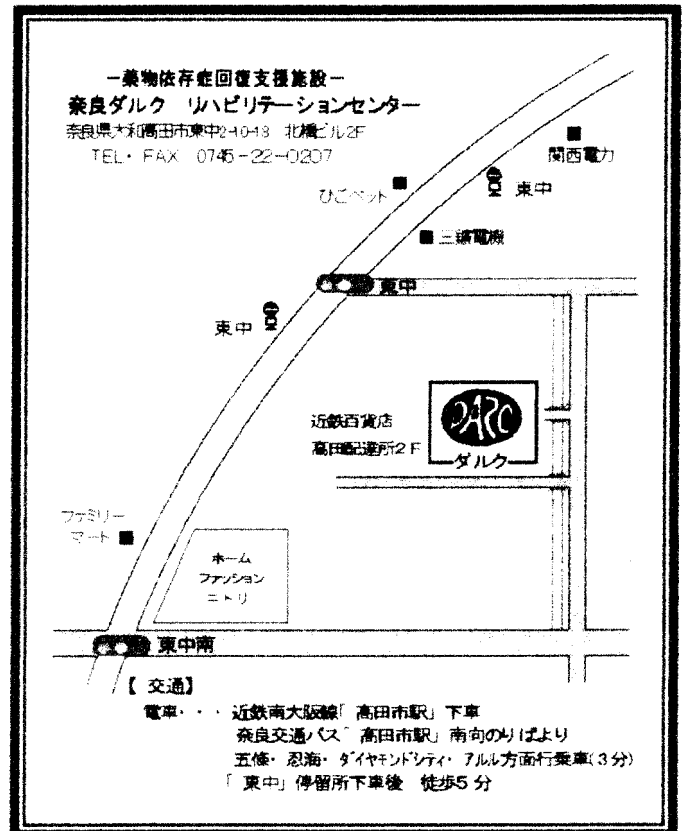
スコット・ジョンソン：ナラティブセラピートレーニング



1996年にグアムで回復センターを設立。その後、日本ではじめてTC(治療共同体)システムを取り入れた施設、群馬ダルクを開設。さまざまなセラピーや薬物・アルコール問題に関してのトリートメントテクニックの取得をし、この活動に活発に寄与し続けています。



※ダルクには駐車場がありません。
 「高田市駅」横に有料駐車場があります。(徒歩10分)



『2008年度内に計5回の研修会を開催いたしますので、案内の送付をご希望の方は奈良ダルクまでご連絡下さい。また下記のアドレスは奈良ダルクメーリングリストの登録アドレスです。随時メーリングリストにも情報を掲載しますのでご登録宜しくお願いします。』 (件名に「メーリングリスト参加」と書いて送信して下さい)

nasn-owner@yahoogroups.jp

奈良ダルク研修センター

連続講座（12月18日）参加申し込み用紙

お名前

ご住所

ご所属

ご連絡先電話番号

e-mail

定員50名様となっておりますのでお早目の申し込みをお勧めします。尚、申し込みは12月10日まで可能です。必要事項をご記入いただきFAX・郵送・E-mailで手続きをお願い致します。申込みを受け付けた段階でご連絡を差し上げます。

「奈良ダルク研修センター」

〒635-0065 奈良県大和高田市東中2-10-18

TEL&Fax 0745-22-0207 E-mail re-life@nike.eonet.ne.jp